



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月28日

上場会社名 さくらインターネット株式会社 上場取引所 東
コード番号 3778 URL <https://www.sakura.ad.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 (氏名) 田中 邦裕
最高経営責任者
問合せ先責任者 (役職名) 取締役最高財務責任者 (氏名) 川田 正貴 TEL 06-6476-8790
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	11,134	48.6	1,230	—	1,258	—	855	—
2026年3月期第1四半期	7,492	26.2	△457	—	△438	—	△324	—

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 861百万円(— %) 2026年3月期第1四半期 △277百万円(— %)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	21.38	—
2026年3月期第1四半期	△8.11	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	87,546	30,989	35.1
2026年3月期	82,451	30,329	36.5

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 30,759百万円 2026年3月期 30,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	0.00	—	5.50	5.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,500	43.9	2,200	—	2,200	—	1,400	—	34.97
通期	45,500	28.9	2,500	—	2,300	—	1,500	594.4	37.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2027年3月期1Q	41,890,700株	2026年3月期	41,890,700株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,865,152株	2026年3月期	1,866,039株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2027年3月期1Q	40,025,235株	2026年3月期1Q	40,001,494株

(注) 当社は、「株式給付信託(J-ESOP)」を導入しており、当該信託が保有する当社株式を、期末自己株式数及び期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている今後の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 決算説明資料は2026年7月28日(火)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、物価上昇による個人消費への影響に加え、米国の通商政策や為替相場の変動、国際情勢の不安定化に伴う地政学リスク、資源・エネルギー価格の動向など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当業界においても、原材料価格や人件費の上昇等に留意する必要がある一方、Generative AI（以下、生成AI）およびクラウド需要は堅調に拡大しております。当社グループの属するクラウド・インターネットインフラ市場は、レガシーシステムのモダナイゼーションやAIの活用拡大を背景に引き続き成長が見込まれております。また、生成AIに対する投資の拡大が予想されており今後も市場の拡大が継続すると見込んでおります。

こうした状況のもと、当社グループはシステムインテグレーションから開発、クラウド・インターネットインフラサービスの提供、保守、運用、お客様サポート等をグループ内においてワンストップで提供することで、お客様の「やりたいこと」の実現を支援することを目指しております。また、現在の幅広い顧客基盤に加え、ガバメントクラウドの正式採択や生成AIサービスの拡大を契機とした新たな顧客の獲得を進めております。今後もこれら既存顧客及び新規顧客双方のカスタマーサクセスの実現に注力し、高い成長が見込まれるクラウドサービスの拡大に取り組んでまいります。

売上高につきましては、前期に追加投資したNVIDIA製 H200/B200 GPU、既存のH100 GPUの高稼働によりGPUインフラストラクチャーサービスが好調に推移したこと等により、11,134,597千円(前年同期比48.6%増)と第1四半期としては過去最高の売上高になりました。

営業利益につきましては、GPUや人材への積極的な投資に伴う費用等が増加いたしました。売上高の増加により、1,230,678千円(前年同期は457,171千円の営業損失)となりました。

経常利益につきましては、営業利益の増加等により、1,258,064千円(前年同期は438,277千円の経常損失)となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、経常利益の増加等により、855,926千円(前年同期は324,379千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

サービスカテゴリー別の売上状況は以下のとおりです。

① クラウドサービス

さくらのクラウドが着実に成長したこと等から、クラウドサービスの売上高は3,975,030千円(前年同期比7.5%増)となりました。

② GPUインフラストラクチャーサービス

前期に追加投資したH200/B200 GPUと既存のH100 GPUの高稼働が売上に寄与し、GPUインフラストラクチャーサービスの売上高は4,718,088千円(前年同期比245.9%増)となりました。

③ 物理基盤サービス

ハウジングサービス、専用サーバサービスの利用減少等により、物理基盤サービスの売上高は708,578千円(前年同期比11.7%減)となりました。

④ その他サービス

グループ会社における大口案件獲得等により、その他サービスの売上高は1,732,900千円(前年同期比6.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

① 資産

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5,095,050千円増加し、87,546,127千円(前連結会計年度末比6.2%増)となりました。主な要因は、石狩データセンターのインフラの増強等による有形固定資産の増加及びそれらの支払いに備えた現金及び預金の増加等によるものです。

② 負債

当第1四半期連結会計期間末の負債の合計は、前連結会計年度末に比べ4,434,686千円増加し、56,556,608千円(前連結会計年度末比8.5%増)となりました。主な要因は、石狩データセンターのインフラ増強に関する支払いに備えた借入金、リース債務の増加等によるものです。

③ 純資産

当第1四半期連結会計期間末の純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ660,364千円増加し、30,989,518千円(前連結会計年度末比2.2%増)となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきまして、当第1四半期連結累計期間の業績が当初予想を上回って進捗したことから、第2四半期累計期間及び通期の業績予想を修正することといたしました。

業績予想修正の詳細は、本日公開いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,391,081	17,271,165
受取手形、売掛金及び契約資産	4,813,239	4,876,587
商品及び製品	408,039	16,057
仕掛品	59,243	31,401
貯蔵品	554,600	457,962
その他	5,051,385	6,443,651
貸倒引当金	△22,274	△22,365
流動資産合計	26,255,316	29,074,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,862,442	12,121,905
工具、器具及び備品（純額）	17,950,309	16,741,156
リース資産（純額）	13,097,016	15,167,649
その他（純額）	5,812,735	4,863,616
有形固定資産合計	46,722,502	48,894,327
無形固定資産		
その他	2,018,177	2,109,370
無形固定資産合計	2,018,177	2,109,370
投資その他の資産		
その他	7,460,084	7,472,912
貸倒引当金	△5,004	△4,944
投資その他の資産合計	7,455,080	7,467,968
固定資産合計	56,195,760	58,471,666
資産合計	82,451,076	87,546,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,245,523	554,710
短期借入金	10,687,000	14,742,000
1年内返済予定の長期借入金	4,796,832	4,242,518
未払法人税等	546,193	550,664
前受金	8,658,592	8,898,355
賞与引当金	772,410	376,674
役員賞与引当金	36,800	—
その他	7,111,581	7,550,549
流動負債合計	33,854,933	36,915,473
固定負債		
長期借入金	5,777,396	5,067,428
リース債務	11,464,636	13,520,629
資産除去債務	833,995	834,469
株式給付引当金	84,053	95,234
役員退職慰労引当金	70,780	85,226
退職給付に係る負債	33,050	33,950
その他	3,076	4,196
固定負債合計	18,266,988	19,641,134
負債合計	52,121,922	56,556,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,283,167	11,283,167
資本剰余金	10,649,910	10,649,910
利益剰余金	9,232,622	9,887,088
自己株式	△1,093,229	△1,092,765
株主資本合計	30,072,470	30,727,400
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,625	15,577
為替換算調整勘定	13,893	14,470
繰延ヘッジ損益	289	2,548
その他の包括利益累計額合計	28,808	32,596
非支配株主持分	227,875	229,521
純資産合計	30,329,154	30,989,518
負債純資産合計	82,451,076	87,546,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	7,492,152	11,134,597
売上原価	5,948,216	7,713,234
売上総利益	1,543,935	3,421,363
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	1,976	43
給料及び手当	615,433	796,379
賞与引当金繰入額	124,814	159,367
役員退職慰労引当金繰入額	12,802	14,446
退職給付費用	—	900
支払手数料	450,458	330,858
その他	795,621	888,688
販売費及び一般管理費合計	2,001,106	2,190,684
営業利益又は営業損失 (△)	△457,171	1,230,678
営業外収益		
受取利息	994	14,507
持分法による投資利益	37,234	51,464
補助金収入	92,321	137,969
その他	18,979	22,532
営業外収益合計	149,528	226,474
営業外費用		
支払利息	108,696	180,876
その他	21,938	18,212
営業外費用合計	130,634	199,088
経常利益又は経常損失 (△)	△438,277	1,258,064
特別利益		
国庫補助金等収入	6,283,839	2,503,629
特別利益合計	6,283,839	2,503,629
特別損失		
固定資産除却損	22	459
固定資産圧縮損	6,283,839	2,503,629
特別損失合計	6,283,862	2,504,089
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△438,299	1,257,605
法人税、住民税及び事業税	△5,140	480,114
法人税等調整額	△114,178	△80,082
法人税等合計	△119,319	400,032
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△318,980	857,572
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,398	1,646
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失 (△)	△324,379	855,926

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△318,980	857,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,913	△4
繰延ヘッジ損益	△870	2,258
為替換算調整勘定	△1,480	577
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,934	956
その他の包括利益合計	41,627	3,788
四半期包括利益	△277,352	861,361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△282,751	859,715
非支配株主に係る四半期包括利益	5,398	1,646

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、インターネットインフラ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	1,534,721千円	2,950,432千円